

Autonomous アクセス ポイントでの Cisco IOS のアップグレード

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[アップグレード プロセス](#)

[GUI での Cisco IOS のアップグレード](#)

[図 1 :](#)

[図 2](#)

[CLI での Cisco IOS のアップグレード](#)

[確認](#)

[トラブルシューティングの手順](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、GUIまたはCLIを使用してAutonomousアクセスポイント上のCisco IOS®イメージをアップグレードする方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco AironetアクセスポイントCisco IOSリリース15.3(3)JE以降のCisco IOSソフトウェアコンフィギュレーションガイドに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『シスコ テクニカル ティップスの表記法』を参照してください。

注：この手順は、任意のAutonomousアクセスポイントに適用できます。

背景説明

アップグレードは、新しい Cisco IOS イメージで使用可能となった新機能を活用するとともに、以前のソフトウェアバージョンの問題を修正するために実行されます。通常は、定期的なメンテナンス タスクの一部として実行されます。GUI または CLI のいずれかを使用して、アクセスポイント上の Cisco IOS をアップグレードできます。

このドキュメントで使用する IP アドレスは次のとおりです。

- TFTP サーバの IP アドレスは、10.77.244.196 です。
- アクセスポイントの IP アドレスは、10.77.244.194 です。

このドキュメントでは、アクセスポイント (AP) は、Cisco IOS Software Release 12.4.10b-JA3(ED) にアップグレードされます。

アップグレード プロセス

GUI での Cisco IOS のアップグレード

このセクションでは、GUI を介してアクセスポイントをアップグレードする方法について説明します。次のステップを実行します。

1. AP の現在のソフトウェアバージョンを確認します。GUI にログインするため、ブラウザを開いて、アドレスバーに `http://<ip address of the ap>` と入力します。メインページで、左側にある[System Software] メニューをクリックします。[Software Upgrade] オプションを選択し、[System Software Version] フィールドで現在のCisco IOSバージョンを確認します。
注：Cisco.com Downloadsからファームウェアをダウンロードする方法については、『[Ciscoソフトウェアダウンロードに関するFAQ](#)』を参照してください。
2. ソフトウェアアップグレードページで、**図1**に示すように、TFTPアップグレードを選択します。注：この画面からCisco IOSのバージョンを確認することもできます。
3. TFTP サーバの IP アドレスを入力します。
4. **図1**に示すように、[Upgrade System Software Tar] ファイルフィールドにアップグレードするCisco IOSソフトウェアファイルの名前を指定します。注：スムーズなアップグレードを行うために、元のCisco IOSファイル名を変更しないでください。名前は、cisco.com からファイルをダウンロードしたときのままにします。
5. [Upgradebutton] をクリックします。**図2**に示すようなステータスウィンドウが表示されます。これには数分かかります。その後、アップグレードが完了すると、AP がリブートされます。

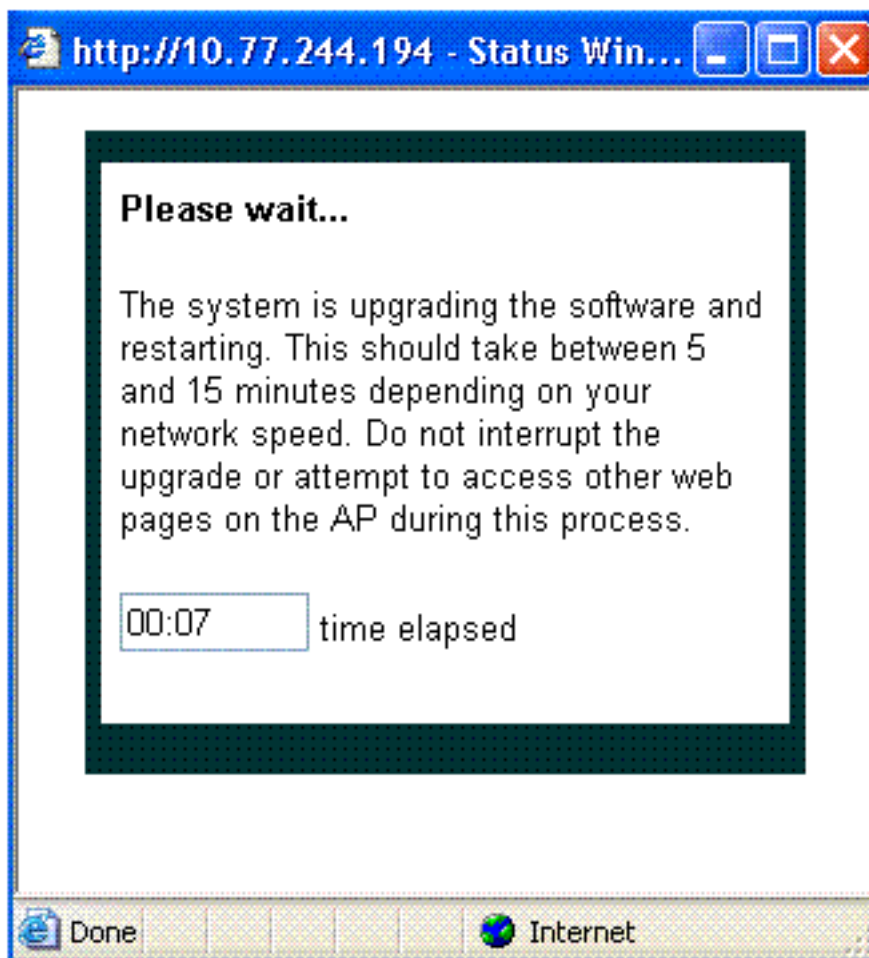
図 1 :



システムのアップグレード

システムソフトウェアTarファイル

図 2



ステータスウィンドウ

CLI での Cisco IOS のアップグレード

CLIを使用してアクセスポイントのCisco IOSをアップグレードするには、次の手順を実行します

1. Telnet セッションでアクセスポイントにログインします。
2. 新しいイメージファイルをダウンロードして、現在のイメージを置き換えたり、保存したりできます。注：Cisco.comダウンロードからファームウェアをダウンロードする方法については、『[Ciscoソフトウェアダウンロードに関するFAQ](#)』を参照してください。注：後者のオプションは、Cisco IOSファイルの1つが破損している場合に役立ちます。フラッシュ内の他のイメージを使用してアクセスポイントで作業できます。
3. 現在のファイルを上書きすることを選択した場合は、**archive download-sw /overwrite /reload tftp://location/image-name**コマンドを発行します。*/overwrite*オプションは、フラッシュ内のソフトウェアイメージをダウンロードしたイメージで上書きします。*/reload* オプションを指定すると、設定を変更して保存していない場合を除き、イメージのダウンロード後、システムがリロードされます。*//location*には、TFTPサーバのIPアドレスを指定します。*image name* には、アクセスポイントをアップグレードするために使用予定の Cisco IOS ファイル名を指定します。この例では、コマンドは**archive download-sw /overwrite /reload tftp://10.77.244.194/c1240-k9w7-tar.124-10b.JA3.tar**です。前述のとおり、Cisco IOS ファイルの名前は変更しないでください。デフォルトのままにしておいてください。ファイルが正常に転送されると、以下のログが記録されます。

```
examining image...
Loading c1240-k9w7-tar.124-10b.JA3.tar from 10.77.244.196 (via BVI1): !
extracting info (275 bytes)
Image info:
  Version Suffix: k9w7-.124-10b.JA3
  Image Name: c1240-k9w7-mx.124-10b.JA3
  Version Directory: c1240-k9w7-mx.124-10b.JA3
  Ios Image Size: 4813312
  Total Image Size: 5560832
  Image Feature: UNKNOWN
  Image Family: C1240
  Wireless Switch Management Version: 1.0
Extracting files...
c1240-k9w7-mx.124-10b.JA3/ (directory) 0 (bytes)
c1240-k9w7-mx.124-10b.JA3/html/ (directory) 0 (bytes)
c1240-k9w7-mx.124-10b.JA3/html/level/ (directory) 0 (bytes)
-----Lines omitted -----
Deleting target version: flash:/c1240-k9w7-mx.124-10b.JA3...done.
New software image installed in flash:/c1240-k9w7-mx.124-10b.JA3.
Configuring system to use new image...done.
Requested system reload in progress...
```

4. 現在のファイルを保持する場合は、**archive download-sw /leave-old-sw /reload tftp://location/image-**という名前コマンドを発行します。新しいイメージをインストールする十分なスペースがない場合に、現在稼働中のイメージを保存しようとする、ダウンロードプロセスが停止して、エラーメッセージが表示されます。

AP は DHCP サーバから指定された Cisco IOS ファイルをダウンロードし、新しいソフトウェアをリロードします。

確認

TFTP サーバで、このファイル転送に関するログを受信したかどうか確認します。TFTP サーバソフトウェアとして `tftpd32` を使用している場合、AP への Cisco IOS ファイルの正常な転送に関する以下のログが見つかります。

```
Read request for file <c1240-k9w7-tar.123-8.JEA2.tar>. Mode octet [18/08 17:10:14.562]
<c1240-k9w7-tar.123-8.JEA2.tar>: sent 10021 blks, 5130240 bytes in 89 s. 0 blk resent [18/08
17:11:42.812]
```

新しいイメージがダウンロードされると、アクセスポイントは自動的にリロードされます。この時点で、アクセスポイントへの接続は失われます。APにログインし直します。GUIで、**System**ソフトウェアメニューを使用して、新しいソフトウェアがロードされているかどうかを確認します。CLIを使用する場合は、**show version**コマンドを使用してこれを確認できます。APのイメージがアップグレードされたかどうか確認するため、Cisco IOSソフトウェアについて記述された1行目を調べます。

トラブルシューティングの手順

アップグレードが成功しなかった場合は、以下のチェックを実行します。

1. アクセスポイントから TFTP サーバに到達できることを確認します。AP と TFTP サーバの IP アドレスの割り当てを確認します。
2. ファイアウォールを無効にして、TFTP *portudp 69*がブロックされているかどうかを確認します。ネットワーク上に、TFTP サービスを阻止するように定義された ACL がないかどうか判別します。
3. Cisco IOS ファイルが TFTP サーバのルート ディレクトリに存在することを確認します。ルート ディレクトリは、TFTP サーバの現在のディレクトリとも呼ばれます。
4. 特定のモデルのアクセスポイントに適したイメージをダウンロードしたことを確認します。適していない場合は、AP 上のダウンロード アルゴリズムがイメージを拒否しエラーを表示します。
5. アクセスポイントが、ダウンロード ページでイメージに関して指定されたメモリ要件を満たしていることを確認します。フラッシュ内に Cisco IOS ファイルを保持するための十分な領域がない場合は、エラー メッセージが生成されます。
6. GUI を使用して AP をアップグレードしている場合は、ブラウザがサポートされていることを確認します。アップグレード プロセス中は、ステータス ポップアップ ウィンドウが表示されます。ブラウザが AP からのポップアップ ウィンドウの表示を許可していることを確認します。Microsoft Internet Explorer (IE) 6.0 以降がサポートされているブラウザです。サポートされているブラウザの詳細については、『[Autonomous Cisco Aironetアクセスポイント用Cisco IOSコンフィギュレーションガイド、リリース15.3\(3\)JE以降](#)』の「[Webブラウザインターフェイスの使用](#)」セクションを参照してください。
7. アップグレードプロセスの失敗が原因で、APがap:モードのままになり、`permission denied`エラーメッセージが表示されることがあります。Cisco IOSをAPにリロードするには、『[Cisco AironetアクセスポイントCisco IOSソフトウェアコンフィギュレーションガイドCisco IOSリリース15.3\(3\)JE以降](#)』の「[トラブルシューティング](#)」セクションを参照してください。

関連情報

- [CiscoソフトウェアダウンロードFAQ](#)
- [AireOSワイヤレスLANコントローラ\(WLC\)のアップグレードプロセス](#)
- [シスコテクニカルサポートおよびダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。